

(2) 社会・国際学群履修細則

〔平成19年4月1日
社会・国際学群部局細則第3号〕

- 改正 平成20年社会・国際学群部局細則第3号
- 改正 平成21年社会・国際学群部局細則第3号
- 改正 平成22年社会・国際学群部局細則第3号
- 改正 平成23年社会・国際学群部局細則第3号
- 改正 平成24年社会・国際学群部局細則第3号
- 改正 平成24年社会・国際学群部局細則第4号
- 改正 平成25年社会・国際学群部局細則第2号
- 改正 平成25年社会・国際学群部局細則第3号
- 改正 平成26年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 平成27年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 平成27年社会・国際学群部局細則第2号
- 改正 平成28年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 平成28年社会・国際学群部局細則第2号
- 改正 平成29年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 平成30年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 平成31年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 令和2年社会・国際学群部局細則第1号
- 改正 令和3年社会・国際学群部局細則第1号

社会・国際学群履修細則

(趣旨)

第1条 この部局細則は、筑波大学学群学則（平成16年法人規則第10号。以下「学群学則」という。）第1条の2第1項、第25条、第25条の2、第28条、第31条、第33条、第35条第3項、第39条及び第40条の規定に基づき、社会・国際学群における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的（次条において、「人材養成目的」という。）、教育課程の編成及びその履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(人材養成目的)

第1条の2 学群学則第1条の2第1項に基づき、学群の人材養成目的は、現代社会や世界で生起する諸問題を的確に把握する理解力と独創的な分析能力を備え、社会の要請に対応できる人材を養成する。

2 各学類の人材養成目的は、次の表のとおりとする。

学 類	人材養成目的
社会学類	社会学・法学・政治学・経済学の専門知識を集中的に深める教育を提供するだけでなく、各分野の基礎知識を総合的に修得するための横断的な教育も併せて実施することで、社会科学全般のジェネラルな視点に裏打ちされた高い専門性を発揮しうるグローバル（グローバル+ローカル）志向の人材を養成する。
国際総合学類	グローバリゼーションとともに複雑化する国際的な諸問題に対して、問題の本質を発見する洞察力と情報分析能力を身に付け、先見性と独自性に富む解決策を他者に伝えるコミュニケーション能力を備えた、文理融合型の実践的な人材を養成する。

(主専攻分野)

第2条 学群学則第25条の部局細則で定める主専攻分野は、次の表のとおりとする。

学 類	主 専 攻 分 野
社 会 学 類	社会学、法学、政治学、経済学
国際総合学類	国際関係学、国際開発学

2 前項に定めるもののほか、学群に各学類共通の国際社会科学主専攻を置くものとする。

(履修方法等)

第3条 社会・国際学群における主専攻分野別の「専門科目」、「専門基礎科目」及び「基礎科目」ごとの卒業に必要な履修科目及び修得単位数は、別表第1のとおりとする。ただし、国際社会科学主専攻にあつては、別表1-1のとおりとする。

(主専攻分野の選択条件)

第4条 社会学類にあつては、学生が第2条第1項の主専攻分野を選択するにあつて、あらかじめ、履修すべき授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

ただし、入学した年次において、主専攻分野が決定している者にあつては、この限りではない。

(履修科目の登録の上限)

第5条 学群学則第33条第1項の部局細則で定める履修科目の登録の上限は、45単位とする。

2 学群学則第33条第2項の部局細則で定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる場合の要件及び単位数は、別表第3のとおりとする。ただし、国際社会科学主専攻にあつては、別表3-1のとおりとする。

(成績の評価)

第6条 学群学則第35条第3項の部局細則で定めるP及びFの評語を用いることができる授業科目は、「フレッシュマン・セミナー」及び「学問への誘い」とする。

(早期卒業)

第7条 学群学則第40条に規定する早期卒業の対象者及び基準は、別表第4のとおりとする。ただし、国際社会科学主専攻にあつては、別表4-1のとおりとする。

(雑則)

第8条 この部局細則に規定するもののほか、学類における授業科目の履修に関し必要な事項は、学類教育会議の議を経て、学類長が定め、学内に公示するものとする。

附 則

この部局細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平20. 2. 4 社会・国際学群部局細則第3号)

この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平21. 1. 28 社会・国際学群部局細則第3号)

この部局細則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平22. 2. 24 社会・国際学群部局細則第3号)

この部局細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平23. 2. 23 社会・国際学群部局細則第3号)

この部局細則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平 23. 9. 28 社会・国際学群部局細則第 3 号）
この部局細則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平 24. 6. 27 社会・国際学群部局細則第 4 号）
この部局細則は、平成 24 年 8 月 1 日から施行する。

附 則（平 25. 1. 23 社会・国際学群部局細則第 2 号）
この部局細則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平 25. 6. 26 社会・国際学群部局細則第 3 号）
1. この部局細則は、平成 25 年 7 月 1 日から施行し、同年 4 月 1 日から適用する。
2. 平成 25 年 3 月 31 日以前に社会・国際学群に入学した者については、この部局細則による改正後の社会・国際学群履修細則別表 4-1 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平 26. 2. 19 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 27. 3. 4 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 27. 7. 24 社会・国際学群部局細則第 2 号）
1. この部局細則は、平成 27 年 9 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 28. 1. 13 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 28. 3. 2 社会・国際学群部局細則第 2 号）
1. この部局細則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則による改正後の社会・国際学群履修細則別表第 3 及び第 4 に定める社会学類に関する事項は、平成 25 年度入学者から適用する。

附 則（平 29. 2. 17 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 30. 2. 16 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（平 31. 3. 5 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（令 2. 1. 8 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

附 則（令 3. 1. 4 社会・国際学群部局細則第 1 号）
1. この部局細則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

2. この部局細則の施行前に学群に入学した者に適用される履修方法等にあつては、なお従前の例による。

Supplementary Table No. 1 (Article 3) 別表第1-1 (第3条関係)
(Undergraduate Program of International Social Studies) (社会国際学教育プログラム)

Main Fields 専攻分野	Required Courses and Credits for Graduation																					
	Major Subjects				Foundation Subjects for Major				General Foundation Subjects						Subtotal							
	Required	Number of credits	Core Electives	Number of credits	Free Electives	Number of Credits	Required	Number of Credits	Core Electives	Number of Credits	Free Electives	Number of Credits	Required	Number of Credits	Core Electives	Number of Credits	Free Electives	Number of Credits	Total			
International Social Sciences (English Course) 国際社会科学専攻	Graduation Thesis 卒業論文	6	BE22	16 - 32		International Social Studies I	2	BE21	16 - 32		Multidisciplinary Subjects I (Including Freshman Seminar) 総合科目 I (含フレゼミ)	2	Multidisciplinary Subjects I II III 総合科目 I II III	0 - 6				34	42 92	50 0	126	
	BE121	1	Classes offered by the School of Social and International Studies	14 - 40		International Social Studies II	2			Physical Education 体育	0 - 1											
	BE122	1								Foreign Language 外国語	0 - 8											
	BE123	1	社会・国際学群で開設される科目							Art Practice 芸術	0 - 1											
	BE124	1	BA, BB, BC, BE																			
	BE125	1	Internship BE31	0 - 4																		
	BE126	1																				
	Total Number of Credits		12		30 - 76			4		16 - 32		18			0 - 16				34	92	0	126

(Notes)

- The number of credits listed in the above table refers to the number of minimum credits required for graduation. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最小の数値を表す。
- The double-counting of the class is prohibited whether it is within the same subject category or across all subject categories. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
- Alphabetic and numeric characters listed in each class subject category are the class codes indicating each group of classes. この表の各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
- With regard to the Multidisciplinary Subjects, Physical Education, Foreign Languages, Information Literacy and Art, students shall take the offered classes that are relevant to each subject. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「情報」、「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているものうちから履修する。
- The number of credits which should be taken as 1st Foreign Language (Japanese)-could be substituted wholly or partly by taking the Common Foundation Subjects and Specific Foundation Subjects; conditions under which this applies will be defined in another regulation regardless of the regulations of this chart (above). この表に掲げる第1外国語(日本語)として修得すべき単位数については、この表の規定にかかわらず別に定めるところにより履修を全部又は一部を免除することがある。なお、免除された単位数については、共通科目及び関連科目の履修をもって充てるものとする。

別表第2 (第4条関係)

学 類	主専攻分野	主 専 攻 分 野 の 選 択 条 件 と し て 履 修 す べ き 指 定 科 目 及 び 単 位 数																	
		専 門 科 目				専 門 基 礎 科 目				基 礎 科 目				基 礎 科 目					
		単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	必 修 科 目	単 位 数	選 択 科 目	単 位 数	自 由 科 目
社 会 学 類	社会学	30単位 (専門科目及び専門基礎科目 (社会学基礎論及び現代社会論を含む。) の12単位を含む。)																	
	法学	30単位 (専門科目 (憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法総則、刑法総論) の中から4～6単位及び専門基礎科目 (法学概論、民法概論を含む。) の8単位を含む。)																	
	政治学	30単位 (専門科目及び専門基礎科目 (政治学、政治外交史を含む。) の12単位を含む。)																	
社 会 学 類	経済学	30単位 (専門科目及び専門基礎科目 (経済学基礎論、現代経済史を含む。) の12単位を含む。)																	

(注) 1. この表に掲げる単位数は、主専攻分野の選択に必要な最少の数を表す。
 2. この表の各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを示す。

別表第3（第5条第2項関係）

学 類	要 件	単 位 数
社会学類	(1) 前年度の年間GPAが3.6以上である者で、クラス担任の許可を得た者。 (2) クラス担任が特別な事情があると認めた者。	55単位
国際総合学類	(1) 前年度において、卒業の要件として修得すべき単位数を40単位以上修得していること、かつ、前年度において、卒業の要件として修得した単位の80%以上が「A」以上の評価である者 (2) 学類長が特別な事情があると認めた者	55単位

別表第3-1（第5条第2項関係）

（社会国際学教育プログラム）

主専攻分野	要 件	単 位 数
国際社会科学主専攻	(1) 前年度修得科目数の50%以上を「A」以上の評価をもって修得した者で、クラス担任の許可を得た者。 (2) クラス担任が特別な事情があると認めた者。	55単位

別表第4（第7条関係）

学 類	対 象 者	基 準
社会学類	<p>(1) 3年次末卒業を希望する者（秋学期入学者を除く）は、2年次までの修得単位数と3年次の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ申請時までの累積GPAが4.0以上である者。</p> <p>(2) 4年次春学期末卒業を希望する者（秋学期入学者を含む）は、3年次までの修得単位数と4年次春学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積GPAが4.0以上である者。</p> <p>秋学期入学の学生で、4年次秋学期末卒業を希望する者</p> <p>(3) は、3年次までの修得単位数と4年次秋学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積GPAが3.8以上である者。</p>	<p>本学に3年以上在学し、卒業判定時での修得単位数が卒業要件を満たして、かつ累積GPAが4.0以上であること。</p> <p>ただし、秋学期入学の学生で、4年次秋学期末卒業を希望する者については、累積GPAが3.8以上であること。</p>
国際総合学類	<p>(1) 1年次に修得した総単位数のうち80%以上が「A」以上の成績であること。該当者に対しては、2年次で「国際学ゼミナールⅠ」の受講を認めるので、同ゼミナールに登録し、単位を修得した者。</p> <p>(2) 上記(1)を満たした上で、2年次に修得した総単位のうち80%以上が「A」以上の成績であること。該当者に対しては3年次で「国際学ゼミナールⅡ」の受講を認めるので、同ゼミナールに登録し、単位を修得した者。</p> <p>(3) 3年次に、通常の4年次卒業者と同じスケジュールで、「卒業論文」を提出できる見込みのある者。</p> <p>(4) 秋学期入学者で4年次秋学期卒業の場合は、上記規定にかかわらず、「国際学ゼミナールⅠ」又は「独立論文」を2年次春学期から履修し、「国際学ゼミナールⅡ」を3年次春学期から履修し、通常の4年次と同じスケジュールで「卒業論文」を提出する者。</p> <p>(5) 地域研究イノベーション学位プログラム（ASIP）生として選抜され、4年次春学期卒業の場合は、上記規定にかかわらず、「国際学ゼミナールⅠ」と「独立論文」を3年次までに履修し、優秀な成績で合格し、「卒業論文」を4年次の5月までに提出する見込みがあり、かつ学類長が特別に認めた者。</p>	<p>(1) 1年次に修得した総単位数のうち80%以上が「A」以上の評価で、また2年次に修得した総単位数のうち80%以上が「A」以上の成績であること。</p> <p>(2) 3年次末（又はその他）の卒業時点で、修得した総単位のうち80%以上が「A」以上の成績であること。</p> <p>(3) 卒業に必要な総単位数及び科目区分ごとの単位数を修得していること。</p> <p>(4) 秋学期入学者で4年次秋学期卒業の場合は、上記規定にかかわらず、4年次秋学期までに優秀な成績で卒業要件を満たしていること。</p> <p>(5) 地域研究イノベーション学位プログラム（ASIP）生として選抜され、4年次春学期卒業の場合は、上記規定にかかわらず、4年次春学期終了時点までに優秀な成績で卒業要件を満たしていること。</p>

別表第4-1 (第7条関係)
 (社会国際学教育プログラム)

主専攻分野	対 象 者	基 準
国際社会科学主専攻	<p><u>3年間の在籍で卒業する場合</u></p> <p>(1) 1年次に修得した総単位数のうち80%以上が「A」以上の成績であること。該当者に対しては、2年次に「ゼミナールA, B, C」の受講を認めるので、同ゼミナールに登録し、単位を修得した者。</p> <p>(2) 上記(1)を満たした上で、2年次に修得した総単位のうち80%以上が「A」以上の成績であること。該当者に対しては3年次に「ゼミナールD, E, F」の受講を認めるので、同ゼミナールに登録し、単位修得が見込まれる者。</p> <p>(3) 上記(1)、(2)を満たした上で、学群長が定める国際社会科学主専攻の卒業論文提出スケジュールに従って卒業論文を提出できる者。</p>	<p>(1) 1年次に修得した総単位数のうち80%以上が「A」以上の評価であること。</p> <p>(2) 2年次に修得した総単位数のうち80%以上が「A」以上の評価であること。</p> <p>(3) 3年次末卒業の時点で、修得した総単位のうち80%以上が「A」以上の評価であること。また卒業時まですべての卒業要件を満たしていること。</p>
	<p><u>3年間と秋学期の在籍で卒業する場合</u></p> <p>学群長が定める国際社会科学主専攻のスケジュールで「ゼミナールA~F」を履修し、かつ卒業論文を提出できる者。</p>	<p>卒業時まで修得した総単位数の60%以上が「A」以上の評価であり、かつすべての卒業要件を満たしていること。</p>